

2019年4月

株式会社LSIメディエンス

【新製品】全自動血液凝固検査システム STACIA CN10 発売のお知らせ

LSIメディエンスは、「全自動血液凝固検査システム STACIA CN10 (ステイシア・シーエヌ・テン)」を4月1日に発売いたしました。

STACIA CN10は、従来から販売している生化学から凝固、免疫項目まで多種類項目の測定が可能な「全自動臨床検査システム STACIA」の搭載技術を用いた凝固検査専用機です。設置面積がSTACIAの46%とコンパクトなサイズのSTACIA CN10は、処理速度を落とさずに複数の測定法を組み合わせた測定が可能であるほか、優れたオンボードデータ安定性とタッチパネルによる簡単操作などのユーザビリティを高めたモデルです。



【STACIA CN10 の主な特長】

- ・複数の測定法を組み合わせた検査でもハイスループット

LPIA テーブルと凝固テーブルの2つの反応テーブルが独立しているため、複数の測定法（凝固時間測定法、合成基質法およびラテックス凝集法など）を組み合わせても処理速度は240テスト/h。

- ・自動キャップ開閉システムと保冷機能による優れたオンボード安定性

独自の試薬キャップ自動開閉システムを採用し、試薬の濃縮・劣化を防止。試薬庫の保冷機能とともに優れたオンボードデータ安定性を実現しました。



・コンパクト設計

PC、給排水タンクを装置内に格納したコンパクト設計。100V 電源を使用でき、限られたスペースでも設置可能です。

・多彩な凝固検査用試薬が使用可能

特異性の高い D ダイマー、FDP などの凝固線溶系の分子マーカに加え、新たに開発した液状の凝固時間試薬「コアグジェネシスシリーズ」も搭載可能です。

【構成・仕様】

販売名	全自動血液凝固検査システム STACIA CN10
サイズ	964(W)×768(D)×1200(H)mm PC 格納型)
重量	290kg
電源、消費電力	AC100V、1.5KVA 以下
周波数	50/60Hz
使用環境	周囲温度：15~30°C、相対湿度：15~80%
測定原理	凝固時間測定法、ラテックス近赤外凝集法 (LPIA 法)、比色法 (合成基質法)、免疫比濁法 (TIA 法)
処理能力	最大 240 テスト/h、フルランダムアクセス
検出部	凝固時間測定法:20 ポート LPIA 法、合成基質法：41 ポート
測定波長	凝固時間測定法：405nm、660nm LPIA 法、合成基質法、TIA 法：340、405、450、480、540、570、600、660、700、800nm
同時測定項目	24 項目
自動希釈再検機能	有り／希釈倍率は変更可能
検体架設	最大 80 検体 (10 検体×8 ラック)
搭載試薬本数	44 本 (保冷 44 本)
搭載キュベット	750 個 ディスポーザブルキュベットは追加搭載、廃棄 随時可能

<お問い合わせ先>

株式会社 L S I メディエンス

診断薬事業本部 学術部 インフォメーショングループ

Tel 03-5994-2516